

Ⅳ-i-8. 【その他】

(1) 他機関との協働

1) 中国四国地区大学との協働

① 10 国立大学長による男女共同参画推進のための共同宣言

男女共同参画推進の取組においては、近隣地区の大学との連携を進めている地区が九州、北東北、筑波等いくつかあり、シンポジウムの他にも、実務者による勉強会や情報交換会等を開催して業務に生かしている。中国・四国地区では平成21年度末に広島大学が第1回を開催した中国四国男女共同参画シンポジウムが継続して実施されているが、それ以外には特に何も行われていない。平成23年度に本学が中国四国男女共同参画シンポジウムの主催大学となるにあたり、地区内大学により何らかの協働を行うことを通して連携に向けて動き出すことを目指すこととした。そのために、中国・四国地区の国立大学学長による共同宣言を行い、今後の取組の中心的柱とすることとした。

8月初め、沖陽子男女共同参画室長から中国・四国地区各大学の男女共同参画担当部署の長にあてて地区内の国立大学による男女共同参画推進を目指した共同宣言を行うことについて意見・提案を求めた。担当する組織が設置されていない大学においては、人事課の担当部署に問い合わせを依頼した。

その後、複数の大学から共同宣言について検討するための土台となる素案が欲しいとの要望があったため、男女共同参画室で素案を作成し、8月下旬に各大学に送付した。同時に、共同宣言は9月27日に開催される中四国国立大学学長会議で協議事項とするため、意見・提案の提出にあたっては、大学として意見をまとめるように事務組織を通して依頼した。

締め切り日である9月16日までは、各大学から素案に対する代案、あるいは素案中の文言に対するコメントあるいは質問という形で寄せられた。これを受けて、男女共同参画室では共同宣言を再検討し、人事課の協力を得て共同宣言の趣旨および宣言項目の観点からなる「中国・四国地区国立大学の男女共同参画推進のための共同宣言（概要）」を作成して、「中国・四国地区国立大学の男女共同参画推進のための共同宣言について」を中四国国立大学学長会議に協議事項として提案した。

9月27日に開催された中四国国立大学学長会議において「中国・四国地区国立大学の男女共同参画推進のための共同宣言について」が承認された。その後、趣旨に沿う形で最終的な共同宣言文を作成し、10月中旬、人事課を通して各大学に共同宣言が提案された。10月28日までに各大学から意見を求めたところ、4大学から意見が出された。これを反映させて10月31日に最終案を作成し、11月1日-2日に開催された女性研究者研究活動支援事業合同公開シンポジウム等の機会を利用して各大学の男女共同参画担当部署の長に確認した。

11月11日、第3回中国四国男女共同参画シンポジウム「女性研究者が活躍する大学～支援ネットワークの強化を目指して～」において、森田潔学長がビデオメッセージという形で「中国・四国地区国立大学の男女共同参画推進のための共同宣言」（次ページ参照）において披露した。「中

国・四国地区国立大学の男女共同参画推進のための共同宣言」は、地区内大学のホームページ等で周知が図られている。

この間、9月8-9日に開催された中国・四国地区総務部課長会議においては、「男女共同参画の推進について」が本学からの提案により承合事項とされた。各大学からは、特に科学技術基本計画にも数値目標が掲げられている自然科学系の女性教員の比率の増加に向けた取組状況について報告があった。

中国・四国地区国立大学 男女共同参画推進のための共同宣言

中国・四国地区国立大学 男女共同参画推進のための共同宣言

男女共同参画社会、すなわち全ての個人が持つ資質・能力を發揮できる社会の実現は、我が国の発展にとって重要かつ喫緊の課題です。中国・四国地区の10国立大学は、高等教育・研究機関として、地域発展の重要な先導を担い、学術研究の一層の進展及び有為な人材育成に貢献する責務を負っています。

これまで私たちは、男女共同参画社会の実現を目指して女性研究者支援や男女共同参画に関する意識啓発等、活発な取組を推進してきました。今後とも特徴ある取組を継続し、一層発展させていくとともに、次の5項目を実行していくことを宣言します。

- 一 大学構成員の女性比率の向上に努め、かつ意思決定過程への女性の参画機会を拡大すること
- 一 大学構成員が持てる資質・能力を最大限發揮できる教育・研究及び就労環境を整備・充実すること
- 一 男女共同参画の視点に立った人材育成を推進すること
- 一 男女共同参画社会実現への取組において、シンポジウム等を継続開催し、地域との協力・協働を進めること
- 一 男女共同参画社会実現に向けて、地区内での大学間の相互交流と連携を一層深化させること

平成23年11月11日

鳥取大学長	能 勢 隆 之
島根大学長	山 本 廣 基
岡山大学長	森 田 潔
広島大学長	浅 原 利 正
山口大学長	丸 本 卓 哉
徳島大学長	香 川 征
鳴門教育大学長	田 中 雄 三
香川大学長	長 尾 省 吾
愛媛大学長	柳 澤 康 信
高知大学長	相 良 祐 輔

IV-i-8 (1) 他機関との協働

1) 中国四国地区大学との協働

②男女共同参画推進のための連携会議の開催

中国・四国地区の大学との連携を進めるに当たっては、これまでのように中国四国男女共同参画シンポジウムを開催するだけでなく、会議という形で意見交換を進めることが有効であるとの認識から、男女共同参画推進を目的とした連携会議の設置が検討された。男女共同参画室では、連携会議のレベルや参加者、開催頻度等について検討し、まず第1回の会議については地区内の国立大学を対象を絞った上で、希望する関係者であれば誰でも参加できることとし、中国四国地区男女共同参画シンポジウムの開催に合わせて実施することとした。

10月25日付けで沖陽子男女共同参画室長から中国・四国地区国立10大学の男女共同参画担当部署の長宛に男女共同参画推進に携わっている者の検討会議への出席が依頼された。

検討会議は、シンポジウム当日、11時より岡山コンベンションセンター401号室にて開催された。当日は、別表の通り22名の参加があり、以下の事項について検討を行った。

1. 中国・四国地区国立大学の男女共同参画推進のための共同宣言について
2. 第4回中国四国男女共同参画シンポジウムの開催（当番校・実施時期）について
3. 今後の中国・四国地区における連携のあり方について

検討会議では、今後もシンポジウムの開催に併せて年1回開催すること、会議は今後、国立大学以外の大学についても参加を勧めることなどが決定された。なお、会議をどのような形で実施するかということについて今後検討していくことになった。また、今後の連携をスムーズに進めるため、会議参加大学による連絡のための名簿を作成することとなった。

「中国・四国地区男女共同参画連携会議(仮称)」参加者一覧

番号	氏名	所属	職名
1	星川 淑子	鳥取大学 医学部(男女共同参画室員)	助教
2	吉田 雅人	鳥取大学 人事課人事総務係	係長
3	神原 本子	鳥取大学 人事課人事総務係	
4	澤 アツ子	島根大学 男女共同参画室	室長
5	多久和 徹	島根大学 人事労務課労務管理グループ	サブリーダー
6	坂田 桐子	広島大学 男女共同参画室	室長
7	半野 節子	広島大学 財務・総務室 職員福利グループ	主査
8	都築 徳浩	山口大学 総務部人事課	副課長
9	本仲 純子	徳島大学 AWA サポートセンター	センター長
10	中島 佳子	徳島大学 AWA サポートセンター	コーディネーター
11	宮川 純子	徳島大学 人事課男女共同参画室	専門職員
12	長安 めぐみ	香川大学	副室長
13	小島 秀子	愛媛大学 女性未来育成センター	センター長
14	武智 和康	愛媛大学 人事課	副課長
15	田所 佐史	高知大学 総務部人事課	課長補佐
16	沖 陽子	岡山大学 男女共同参画室	室長
17	富岡 憲治	岡山大学 男女共同参画室	副室長
18	本水 昌二	岡山大学 男女共同参画室	特任教授
19	保坂 雅子	岡山大学 男女共同参画室	特任助教
20	門脇 孝弘	岡山大学 男女共同参画室	特任助教
21	前川 幸枝	岡山大学 総務・企画部人事課	課長
22	早川 みどり	岡山大学 総務・企画部人事課	総括主査

IV-i-8 (1) 他機関との協働

2) 医療人キャリアセンターMUSCAT との協働

～岡山県女性医師キャリアセンター運営事業「MUSCATプロジェクト」を通して（平成23年度）～

医療人キャリアセンターMUSCATでは、片岡仁美医師（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授・ダイバーシティ推進本部男女共同参画室員）の下、前進となる「女性を生かすキャリア支援計画」〔質の高い医療人養成推進プログラム（医療人 GP）〕をさらに発展させ、平成22年度からは、岡山県の委託事業（岡山県女性医師キャリアセンター事業）として、「MUSCAT プロジェクト」を進めている。本プロジェクトでは、学内はもとより広く岡山県下の医療人に対象を拡大させ、女性医療人の支援と男女共同参画の実現を目指し、日々活動に邁進している。

男女共同参画室では、平成23年10月21日に、平成23年度第2回交流サロン『医療従事者として生きるということ』を医療人キャリアセンターMUSCATと共催した。交流サロンは、本事業の主な活動として平成21年度より継続して開催しているものである。また、平成23年11月26日には、医療人キャリアセンターMUSCATの活動の一環である第2回岡山MUSCATフォーラム『いまを生きるー求められる医療人の力』を共催した。今後も、医療人キャリアセンターMUSCATと連携をとりながら、学内のみならず地域の男女共同参画の推進に貢献できるよう活動を進めていきたい。

文部科学省科学技術人材育成課補助金「女性研究開発活動促進事業（女性研究者支援モデル育成）」
学都・岡大 女性研究者が育つ連携プラン

平成23年度 第2回
交流サロン
医療従事者として
生きるということ

日時 2011年10月21日(金)
18:30～19:30

概要
医療系学部の学生である「あなた」。
未来の医療従事者として「これからかなえたいこと」はなんですか？
医療従事者として働いている「あなた」。
「あの時こうしておけばよかった」、「後輩に伝えておきたい」ということはありませんか？

平成23年度第2回の交流サロンは、医療従事者が知っておきたいことについて
近い将来、医療従事者となる学生と教員、医療従事者、患者等
様々な立場の方が語り合う場を提供します。

対象者：学生・教職員および一般
会場：岡山大学鹿田キャンパス 医学部保健学棟204講義室
岡山県北広域圏庁2丁目5番1号

お申込み・お問い合わせ先
岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室
〒700-8501 岡山県北広域圏庁2丁目5番1号
TEL&FAX: (086) 251-7011
E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

当日参加可
なるべく事前参加
申し込みにご協力
ください。

主催 岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室
共催 岡山大学大学院保健学研究科
岡山大学医療人キャリアセンターMUSCAT

平成23年度 第2回交流サロン
平成23年10月21日(金)

第2回
岡山MUSCAT
フォーラム

輝く！女性医療人キャリアサポート
いまを生きる
求められる医療人の力

2011/11/26(土) 参加費無料
岡山コンベンションセンター(マカリアフォーラム)
1階イベントホール
13:00～16:30(受付開始) 岡山県岡山市北区駅元町14-1
(16:30終了予定)

プログラム

●ごあいさつ
岡山大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長
岡山大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長
岡山大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長

●特別講演
岡山大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長
岡山大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長

●特別講演「地域を支える力」
「医師として、母として、被災者として」片岡 仁美(岡山大学)
山口大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長
片岡 仁美(岡山大学)

●志を継いだ若さ小児科医の道 片岡 仁美(岡山大学)
一歩を踏み出す医師 和久祥三(岡山大学)

●第二部 バナレディスカッション
「求められる医療人を自覚して」
岡山大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長
岡山大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長

●第三部 グループディスカッション
「私らしく生きる-医療人として輝く」

岡山県女性医師キャリアセンター運営事業

MUSCAT
プロジェクト

託児あり(無料)※申込み11/22(木)前
お問合わせ・お申込み
岡山大学 医療人キャリアセンターMUSCAT
TEL&FAX:086-235-6963
E-Mail:muscat@adm.okayama-u.ac.jp

主催 岡山大学 医療人キャリアセンターMUSCAT
共催 岡山大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長
岡山大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長
岡山大学 片岡仁美 学長 兼 学長 兼 学長 兼 学長

MUSCATプロジェクト (続編)

第2回岡山MUSCATフォーラム
平成23年11月26日(土)

IV-i-8 (1) 他機関との協働

3) 地域との連携・協働

1. 岡山県との連携・協働

男女共同参画室 保坂雅子助教は、平成23年度より「岡山県男女共同参画推進センター運営委員会」の委員となり、岡山県男女共同参画推進センター（ウィズセンター）の事業の実施について助言を行う等して、岡山大学と岡山県との連携に貢献している。

また、女性サポート相談室 小畑千晴相談員は、「女性の人権相談機関連絡会」に入会し、県内各相談機関の現状を把握するとともに、学内のみならず学外から寄せられる相談に対しても、県内の相談所を紹介するなど、適切に対応できるよう岡山県と連携している。

本事業開始時より、岡山県からは交流サロンへ積極的な参加を頂いた。行政機関、一般者を含めた交流の場となり活発な情報交換が行われた。また、平成21年度～平成23年度の男女共同参画シンポジウムでは、後援および広報活動の面で大きな協力を得ている。特に、第3回中国四国男女共同参画シンポジウム（平成23年11月11日開催）では、県民生活部男女共同参画青少年課 岡野千鶴課長に事例紹介していただいた。

【平成21年度】

年月日	内容
平成22年3月6日	男女共同参画推進国際シンポジウム 後援

【平成22年度】

年月日	内容
平成22年8月6日・7日	2010年オープンキャンパスにおける展示協力
平成22年12月18日	平成22年度 男女共同参画推進シンポジウム 後援

【平成23年度】

年月日	内容
平成23年4月23日	第1回「女性の人権相談機関連絡会」へ出席
平成23年5月20日	岡山県男女共同参画推進センター第1回運営委員会へ出席
平成23年7月1日	第2回「女性の人権相談機関連絡会」へ出席
平成23年9月8日	岡山県男女共同参画推進センター第2回運営委員会へ出席
平成23年11月11日	第3回中国四国男女共同参画シンポジウム 後援 男女共同参画青少年課 岡野千鶴氏による事例紹介
平成23年12月16日	DV相談担当職員専門研修会へ参加
平成24年3月8日	岡山県男女共同参画推進センター第3回運営委員会へ出席

2. 岡山市との連携・協働

男女共同参画室 保坂雅子助教は、平成22年度より「岡山市男女共同参画社会推進センター運営委員会」の委員となり、岡山市男女共同参画社会推進センター（さんかく岡山）の事業および施設運営に助言している。

本事業開始時より、岡山市男女共同参画社会推進センター（さんかく岡山）とは連携・協力を深め、男女共同参画室が主催する交流サロンには多くの参加をいただいた。また、平成21年度第3回交流サロンでは、さんかく岡山 企画調整監 真邊和美氏に講演をお引き受けいただいたことから、(社)大学女性協会岡山支部へと連携が広まり、平成23年1月には、岡山市、(社)大学女性協会とともに講演会を主催している。

また、平成21年度～平成23年度の男女共同参画シンポジウムでは、後援および参加の協力を得ている。

【平成21年度】

年月日	内 容
平成22年3月5日	第3回交流サロン さんかく岡山企画調整監 真邊和美氏による講演
平成22年3月6日	男女共同参画推進国際シンポジウム 後援

【平成22年度】

年月日	内 容
平成22年8月6・7日	2010年オープンキャンパスにおける展示協力
平成22年12月18日	平成22年度 男女共同参画推進シンポジウム 後援
平成23年1月23日	市民協働事業 講演会[岡山市・(社)大学女性協会・岡山大学] 「アフリカにおけるジェンダー・イシューズの現状！」
平成23年3月24日	岡山市男女共同参画社会推進センター運営委員会へ出席

【平成23年度】

年月日	内 容
平成23年8月5日	岡山市男女共同参画社会推進センター第1回運営委員会へ出席
平成23年11月11日	第3回中国四国男女共同参画シンポジウム 後援
平成23年12月17日	岡山市男女共同参画社会推進センター第2回運営委員会へ出席
平成24年2月23日	岡山市男女共同参画社会推進センター第3回運営委員会へ出席

3. 社団法人 被害者サポートセンターおかやま(VSCO)との協働

年 月 日	内 容
平成 23 年 6 月 10 日	平成 23 年度 地域における男女共同参画連携事業について 岡山市・(社) 被害者サポートセンターおかやまと打合せ
平成 23 年 8 月 29 日	平成 23 年度 地域における男女共同参画連携事業 「性犯罪被害の根絶を目指す地域ネットワークづくり」について打合せ
平成 23 年 10 月	平成 23 年度 地域における男女共同参画連携事業 「性犯罪被害の根絶を目指す地域ネットワークづくり」性的被害に関する調査の実施
平成 23 年 11 月 30 日	平成 23 年度 地域における男女共同参画連携事業 シンポジウム開催「性犯罪被害の根絶を目指して」(連携) 
平成 24 年 1 月 23 日	平成 23 年度 地域における男女共同参画連携事業 「性犯罪被害の根絶を目指す地域ネットワークづくり」リーフレット作成の打合せ

IV-i-8 (1) 他機関との協働

4) 学内他部局との連携

【平成23年度】

年 月 日	共催する部局名	内 容
平成23年10月14日	大学院自然科学研究科	第2回研究スキルアップ講座
平成23年10月21日	大学院保健学研究科 岡山大学医療人キャリアセンターMUSCAT	平成23年度第2回交流サロン
平成23年11月25日	学生支援センター学生相談室 岡山県男女共同参画推進センター	DV(Domestic Violence)防止 講演会
平成23年11月26日	岡山大学医療人キャリアセンターMUSCAT	第2回 岡山MUSCATフォーラム
平成23年12月15日	岡山大学教育開発センター FD委員会	第2回メンタリングに関するセ ミナー「大学教員にとってのメ ンタリング実践」
平成24年2月14日	学生支援センター 岡山県男女共同参画青少年課	若者のためのライフデザイン 支援事業 講演会

5) 男女共同参画に関する他機関での委員会活動

氏 名	委員会名	職名	活動期間
沖 陽子	公益社団法人 日本工学教育協会 事業企画委員会	委員	平成20年度～ 現在
中谷 文美	岡山市男女共同参画専門委員会	委員	平成18年度～ 現在
片岡 仁美	女性医師支援事業連絡協議会	委員	平成22年度～ 現在
	文部科学省 GP 看護師の人材養成シ ステムの確立 「EBN 志向の次世代看 護職教育システム開発」	内部評価委員	平成23年度
	働きやすい病院評価事業 (2年)	サーベイヤー	平成24年～

IV-i-8(2) 他機関における事業活動への参加および情報交換

①他機関における事業活動への参加および情報交換

平成22年度実施

概要	愛媛大学 愛媛大学女性未来育成センター 視察
実施日	2011年3月11日(金) 11:00~12:00
場所/主催	愛媛大学女性未来育成センター
参加者	保坂雅子(男女共同参画室員) 助教
実施内容	情報交換

概要	愛媛大学 愛媛大学女性未来育成センター公開シンポジウム 第1回愛媛大学女性未来育成センター公開シンポジウム 「ダイバーシティ(多様性)推進で女性が活躍する社会へ」
実施日	2011年3月11日(金) 13:30~16:00
場所/主催	愛媛大学女性未来育成センター
参加者	保坂雅子(男女共同参画室員) 助教
実施内容	シンポジウム参加

概要	広島大学 広大システム改革による女性研究者活躍促進シンポジウム ~活躍する女性科学者からのメッセージ~
実施日	2011年3月17日(木) 14:00~17:00
場所/主催	ホテルグランヴィア 広島
参加者	柴倉美砂子(男女共同参画室員) 大学院保健学研究科 准教授 吉岡美保(WTT教員) 大学院自然科学研究科 助教 保坂雅子(男女共同参画室員) 助教
実施内容	シンポジウム参加

平成23年度実施

概要	第9回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム 男女共同参画と社会
実施日	2011年10月31日(月) 9:30~17:00
場所/主催	筑波大学・大学会館
参加者	保坂 雅子(男女共同参画室員) 助教
実施内容	シンポジウム参加

概要	女性研究者研究活動支援事業合同公開シンポジウム 女性研究者支援に向けた持続可能な取組の実現 ～「モデル的取組」から「研究とライフイベントの両立」へ～
実施日	2011年11月1日(火)～2日(水)
場所/主催	筑波大学東京キャンパス文京校舎
参加者	沖 陽子 (男女共同参画室長) 環境管理センター教授・大学院環境学研究科兼務 早川みどり (男女共同参画室員) 人事課統括主査 保坂雅子 (男女共同参画室員) 助教 門脇孝弘 (男女共同参画室員) 助教 小畑千晴 (女性サポート相談室 相談員) 非常勤コーディネーター
実施内容	シンポジウム参加

概要	徳島大学 男女共同参画シンポジウム in 徳島大学「夢ある未来を拓こう！」
実施日	2011年11月12日 13:00～15:00
場所/主催	徳島大学常三島キャンパス (工学部工業会館2Fメモリアルホール)
参加者	保坂 雅子 (男女共同参画室員) 助教 門脇 孝弘 (男女共同参画室員) 助教
実施内容	シンポジウム参加

概要	第2回四国女性研究者フォーラム プレイベント
実施日	2012年1月27日 12:00～13:00
場所/主催	愛媛大学 校友会館2階サロン
参加者	小畑千晴 (女性サポート相談室 相談員) 非常勤コーディネーター
実施内容	ランチ交流会参加

概要	第2回四国女性研究者フォーラム
実施日	2012年1月27日 13:30～16:30
場所/主催	愛媛大学南加記念ホール (城北キャンパス)
参加者	小畑千晴 (女性サポート相談室 相談員) 非常勤コーディネーター
実施内容	シンポジウム参加

② 本学の取組への他大学からの視察

平成23年度実施

開催日	内 容
2011/5/10	香川大学男女共同参画推進室オリーブハート副室長 長安めぐみ氏 来学
2011/11/11	大阪府立大学女性研究支援センターとの情報交換